

生理学研究所研究会
シナプス可塑性の分子的基盤

2006年6月28~29日
自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター

世話人：高橋正身（北里大学医学部）
所内対応者：井本敬二（生体情報）

プログラム

6月28日(水)

- 13:00 開会挨拶
高橋正身（北里大学医学部）
- 座長 尾藤 晴彦（東京大院）
- 13:10 1. シナプス間隙物質による神経終末の組織化
西宗 裕史（Harvard Univ.）
- 13:50 2. 神経伝達物質の同調性放出を制御するシナプトタグミンの役割
西木 禎一（岡山大院・医歯薬学）
- 14:30 3. SAD キナーゼによる神経伝達物質放出の調節機構
大塚 稔久（富山大学院・医学薬学）
- 15:10~15:40 コーヒーブレイク
- 座長 真鍋 俊也（東京大医科研）
- 15:40 4. AMPA 受容体のリン酸化と脂質修飾による trafficking 制御
林 崇（Johns Hopkins Univ.）
- 16:20 5. NMDA 受容体の欠損は海馬 CA3 領域の興奮性の亢進を引き起こす
福島 章顕（東京大院・分子神経生物）
- 17:00 6. 生体内における神経活動の2光子励起イメージング
喜多村 和郎（大阪大院・医学系）

17:40 7. 2光子励起光標識法を用いた単一スパインのアクチン繊維構築の解析

本蔵 直樹 (東京大院・医学系)

18:40~ 懇親会

6月29日(木)

座長 畑 裕 (東京医科歯科大院)

9:00 8. 微小管動態制御を介した樹状突起伸張の分子機構

大川 宜昭 (三菱化学生命研)

9:40 9. M1受容体を介した海馬CA1領域における長期増強の修飾機構

篠江 徹 (東京大学医科学研)

10:20 10. 拡散を介した小脳異種シナプス抑制の分子基盤：グルタミン酸輸送体が担う役割

佐竹 伸一郎 (生理研・生体情報)

座長 井ノ口 馨 (三菱化学生命研)

11:00 11. アストロサイトの機能変化とシナプス伝達の可塑性

小泉 修一 (国立衛研・薬理)

11:40 12. ニューロングリア細胞間の情報伝達によるシナプス空間の動的制御

松井 広 (生理研・脳形態解析)

12:20~13:20 昼食

座長 森 泰生 (京都大院)

13:20 13. 神経ペプチド PACAP による高次脳機能調節

橋本 均 (大阪大院・薬学)

14:00 14. マウスと昆虫におけるフェロモン受容メカニズム

佐藤 幸治 (東京大院・新領域創成科学)

14:40 閉会挨拶

井本敬二 (生理研・生体情報)